

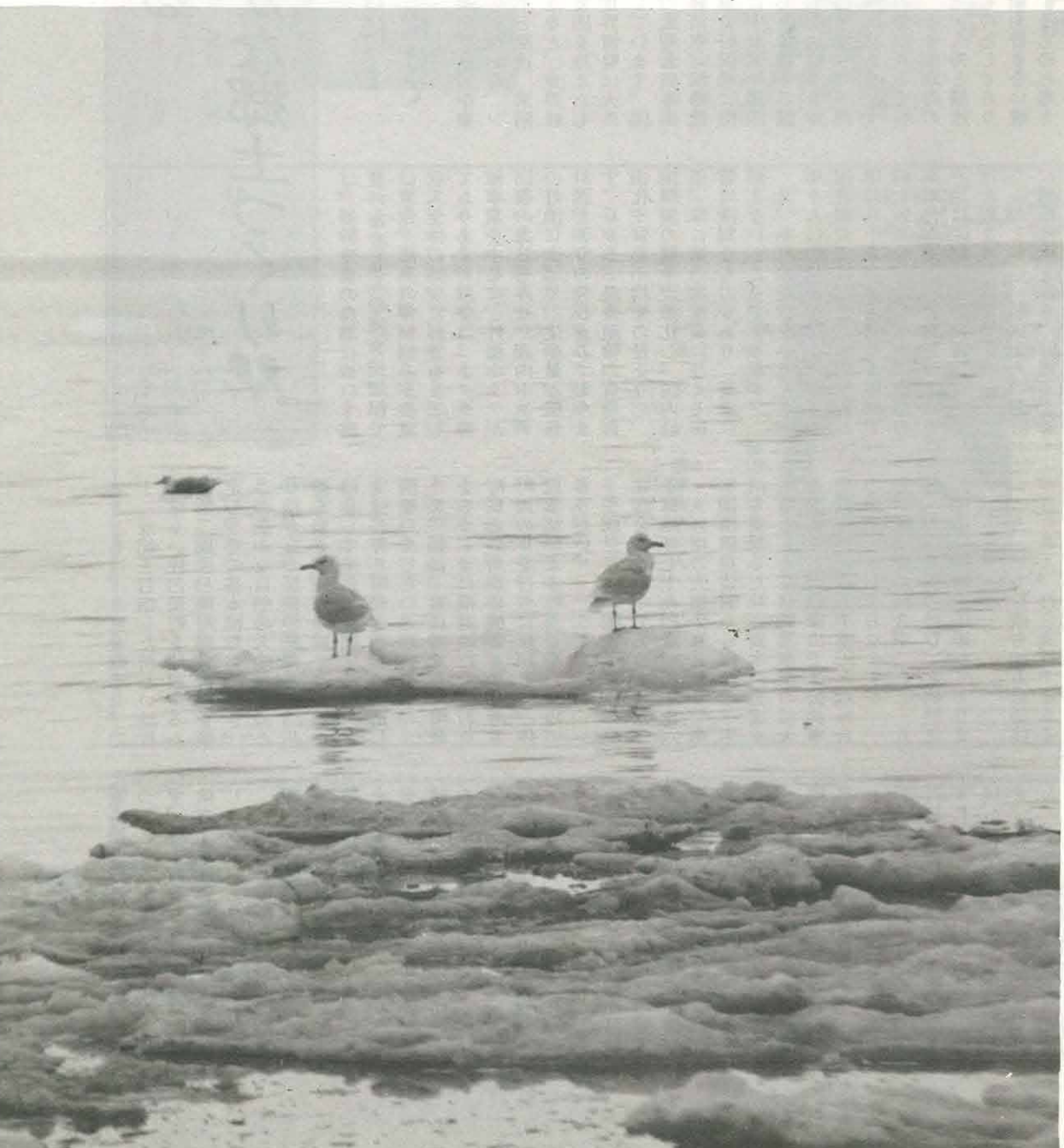
〈佐呂間町民憲章〉

たがいに助け合い

あたたかく幸せなまちをつくります

平成3年
(1991)

4



限りなく発展する

住みよい豊かな郷土づくり!!

町政執行に

向けて

政方針決まる

一九九一年の幕開けは、中東湾岸戦争の勃発と戦後処理、ソ連東欧諸国の改革と混迷、米国の景気後退の懸念など、世界経済は多くの波乱要因を抱えたものとなり、今、世界情勢は大きく変動しようとしています。国内は、戦後第二の大型景気を謳歌してきた日本経済も、株の低迷高金利など企業的好況感に陰りが出始め、殊に中東湾岸諸国へ石油資源の多くを依存する国としては、その影響は経済全体に先行き不透明感を増し、予測が極めて困難な状況にあります。毎年実質五%台の伸びをみていた経済成長率も、本年度政府の経済見通しでは三・八%と減速が避けられないものとしており、経済情勢は、予断を許さない厳しい状況で推移するものと考えられています。一方、町内産業

は、基幹産業の農業において酪農の畜産収入の減少、畑作では麦作、甜菜の伸び悩みが農業収入全体の減少に影響を及ぼしております。漁業は、ホタテ養殖事業を中心に、外海ホタテが回復の兆しをみせ、湖内ホタテの好漁によって、生産量が概ね計画どおりの伸びをみております。しかし、農畜産物の貿易自由化や貿易不均衡の是正など、国際間の競争が激化し、国内経済、殊に第一次産業に与える影響は深刻なものがあり、憂慮に耐えないところであります。又、本町の現状をみると、き、年々人口の減少が進み、昨年の国勢調査では、七、八〇一人と遂に八千人台を下回り五年間で約七%減少となり、人口構造の高齢化が進み、各産業の担い手不足は深刻な社会問題として受け止めなければなりません。こうしたときに、私は先人の荒野に開拓の鋤を打ち、緑豊かな郷土を築かれた偉業に敬意を表す

るとともに、これを継承し、二十一世紀を目指した新しい時代に応じ、佐呂間町を建設するため第二期佐呂間町総合計画を策定し、その基本構想に基づき、この豊かな自然の大地にしっかりと根ざした産業の振興と生活基盤を築き、住民の総ての英知を結集して未来に発展する教育と文化の郷を町民とともに創造し構築したいと思っております。

又、私は、常に開かれた町政をモットーに推進いたしており町民との対話の機会を多くもち町民の声を行政に反映して、住民参加による町づくりを進めて参りたい。

平成三年度の国家予算は、現在国会で審議中であり、予算総額七十兆円余、前年比六・二%増の大型予算となり、赤字国債依存体質から脱却し、生活を重視した社会資本の充実を主眼とした生活関連事業の拡大を図るなど一般歳出では公共事業費が、六兆五千億円と六%台の伸びを示しておりますが、一方、国債費の割合が二十二・五%(十・八%の伸び)と依然として高く財政を圧迫しております。

一方、地方行政も地方自治体が自ら考え、自ら実行するふるさと創生策による地域活性化対

策を推進いたしました、極めてつけとなる施策の展開がみられず、地方財政も依然国庫財源に依存する体質から脱却できず厳しい状況にあります。

私は、この様な情勢を深く認識し、町民の理解と協力を得ながら、総合計画を基本として、財政の健全化に配慮しながら将来に夢と希望を託し、限りなく発展する住みよい豊かな郷土の建設のため最善の努力を傾注する所存であります。

国・道の主なる事業

国は、国道二三八号線佐呂間大橋架替工事と関連道路の整備又、富武土橋周辺の道路整備事業と国道三三三号線旭峠線形改良事業の調査、若佐市街交差点改良事業の具体的な計画が進められます。第四種サロマ湖漁港建設工事は、昨年起工され継続事業として促進されます。

道費関係では、留辺蘂佐呂間線他二線の道路改良工事と花月橋の架替工事が引き続き施工され、サロマ別川河川改修工事は、継続事業として実施されます。更に第八次漁港整備事業として、富武土漁港拡張工事が継続実施されます。道営畑総事業



平成3年度 町長施政

は継続事業として施工され、新規事業として、浜南地区明渠排水事業、佐呂間西部地区畑総事業が着工し、佐呂間地区草地整備事業の調査計画が行われます。

昨年来検討中の産業廃棄物（ホタテウロ）処理施設計画は、常呂町、湧別町の三町関係機関による共同事業として協議を重ねた結果処理施設の機種も概ね決定し、水産物中核流通加工施設整備事業として、国庫補助の内諾も得て、富武士地区に本町が事業主体として建設いたします。

以上、主な懸案事項の実施見通しについて申し上げますが今後とも国・道に対して、地域の開発と基幹産業発展に係る諸施

策の推進についての要請に鋭意努力いたしたい。

新年度予算編成の 基本的な考え

平成3年度予算編成に当たり指針となるべき第二期佐呂間町総合計画が、只今本町議会でご審議いただいておりますが、今後は本総合計画に基づき事業計画の推進を図ることとし初年度の予算編成は、基本計画と財政計画に基づき、継続事業を計画どおり実施することとし、新規事業についても事業の緊要性と特定財源の確保に配慮しながら選択し、その事業の完全執行にむけて努力いたしたい。又、本年度の財政運営に当たり、綿密なる財政執行計画に基づき、極力経常経費の節減に努め、効率的な予算執行を図り、最大の行政効果を挙げるべく努力いたしたい。

新年度の

主なる施策

- 一、町民の健康増進と医療費の通減を図るため、保健施設の充実と保健指導体制を強化いたしたい。
- 一、開基百年事業及び観光開発

事業等を進めるため、公共用地の先行取得と造成に着手したい。

一、火葬場の移転改築を実施いたしたい。

一、農産物の試験栽培及び農業技術の研究を行うため、農業技術センター建設計画を進めたい。

一、本町で適合した近代的農業の将来的な展望と発展計画を審議するための機関を設置する計画をいたしたい。

一、公営住宅の建設と高齢者向け住宅の改修を行いたい。

一、臨森林型産業都市構想に基づく資源活用型林業構造改善事業計画の推進を図りたい。

一、学校給食施設の建設計画を促進するための準備会を設置し計画を進めたい。

一、人づくりと生涯教育の充実を図るため指導体制の充実と社会教育の振興を推進いたしたい。

一、下水道整備計画の準備を進めたい。

予算編成

一、産業行政

農業情勢は、農畜産物の自由化による国際競争が激化する厳しい情勢の中で、国の農政に大きく依存する本町農業のあり方

について、酪農と畑作を基幹とする新しい農業の発展方策と経営の安定化を検討いたしたい。

具体的施策として、農業基盤整備事業を計画的に推進し、農業技術センターの整備を進め、高収益作物の試験研究や地場産品開発センターの内容の充実等を図るため、大学、研究所より専門家を招き産、学、官による取組みを一層強化して参りたい更にホル牡犢の肉用牛肥育施設と農地の地力増進を図るための堆肥場施設の建設計画を検討いたしたい。

又、担い手確保対策について実効ある施策を推進いたしたい林業は、国有林事業の経営見直しと民有林事業の減少により事業量が減少して木材業界が低迷疲弊しておりますが、これら対応策を国や関係機関に強く要請するとともに、森林資源を守り長期展望に立つて資源を育成するため、民有林事業の活性化を推進するとともに、林産業では素材の高次加工を図るための施設整備について検討を進め、雇用の安定と経営の改善に努力されることを期待するものであります。漁業は、今冬の流水流入による被害が危惧されますが、外海湖内養殖ホタテ事業は、関係者の努力により生産量は順調

に推移いたしており、今後の生産性の向上と養殖作業の効率化を図るため、富武士漁港の拡張整備と養殖作業施設の整備促進に努めたい。又、サロマ湖内の汚染対策を隣接三町一丸となつて取り組み永続的な生産基地の保全に努めなければならないと考えます。

商工業は、購買力の町外流出と人口の減少が大きな課題とされており、商工会によるＰＳＴ

ン事業の実施は、町内購買意識を喚起し成果を収めており、今後本事業の発展に期待するとともに、商店街の活性化と発展について、商工会とともに真剣に検討しなければならない時期にあるものと思料されます。

農林漁の第一次産業と共存し多彩な資源を生み出す自然条件を活用した異業種間の交流協力により、新商品の開発や流通販路の研究を重ね、観光資源と併せて地域活性化の推進を図りたい

一、民主行政

国の高齢者対策戦略プロジェクトに基づく在宅老人介護の充実を図るため、デイ・サービスセンターの通所介護事業を積極的に進めるとともに、住民の理解と協力を得てボランティア活動の活発な展開を図りたい。

又、社会福祉協議会を中心に

各種福祉団体組織の育成強化に努め、地域社会における福祉活動の拠点として、広く住民活動が展開されることを期待し、相互扶助の精神を養い、安定したゆとりある福祉の町づくりを進めたい。更に、町民の健康を守り、疾病の早期発見を図るため予防衛生の推進、各種健康診査を実施するとともに、美しく快適な生活環境づくりを推進したい。

一、土木行政

車社会は、産業活動や住民生活に不可欠な要件となり、地域の開発や交通安全対策上道路交通網の整備は急務であります。総合計画では、十一年間の町道整備計画が定まり、年次計画に基づき改良、舗装計画を推進いたしたい。本年度は、西富・若里幹線道路、朝日三四号道路など九路線の改良舗装整備を計画いたしました。又、道営土地改良事業においても農道整備事業が施工されます。更に、町民い

こいの場としての環境づくりを図るため、佐呂間町総合公園整備事業を進めたい。

一、教育行政

幼児から老人まで多種多様な学習活動に参加する生涯教育を目標に掲げて、学校教育、社会教育それぞれの分野で理想的な

教育指導が行える教育環境づくりと、良き指導者の人材育成が必要であると考えます。教育施設整備や人材養成に配慮し、教育・文化の向上とスポーツの振興を積極的に推進いたしたい。学校給食は、教育委員会の調査検討を了したので、給食実現に向けて準備機関を組織し、具体的な実施計画の検討を進めたい。

一、観光開発

サロマ湖周辺は、オホーツク網走周辺大規模リゾート計画や臨森林型産業都市等広域的開発構想が検討されており、町観光開発計画に基づく幌岩山周辺の開発を年次的に推進しており、すが、地場産業と自然が調和した計画を国費補助を導入した事業として推進いたしたいと考えており、民間企業の開発行為との整合性に配慮しながら計画を進めたい。

一、その他

姉妹都市交流事業をはじめ、国際交流の輪を多くの町民に広く普及し国際親善の促進を図りたい。本年はパーマ市へ職員を長期海外研修に派遣し、教育、福祉面での成果を期待したい。ふるさと創生基金の有効的な活用を図るため、広く町民のユニ・アイディアを募集し、地

域の活性化と人づくりに資する事業の推進を図りたい。

住民の利便性と親しみのある職場環境づくりと事務処理のＯＡ化を進めるため、庁舎の改修整備を行いたい。

平成三年度一般会計予算は総額五十三億九千三百五十三万一千円となり、対前年比十四・七％の増となりました。特別会計は、簡易水道、と場、国民健康保険、老人保健の四会計で、特記すべき事業はありませんが、簡易水道使用料が若干伸びており、と場会計は施設の利用率が八十九％と伸び悩みが影響しており、今後の経営改善に努力して参りたい。

又、地域医療費額は大幅な伸びはないが、依然高額横ばい状況にあります。医療費抑制対策と財政の健全化に配慮しながら執行いたしたい。

特別会計の予算総額は、十六億一千六十七万九千円となります。

以上予算総額七十億四百二十一万円となります。

町民の付託を受けて、町政を執行する者として慎重な配慮を以って対処し、職員の研鑽と資質の向上を図り、公平・誠実をモットーに住民本意の行政サ

ビスに徹し、簡素で効率的な行政運営に努めるとともに、平成三年度町財政の運用については総合計画に基づき、長期展望に立って、健全財政を堅持し、効果的な財政運営を図り、行政水準を高めることにより住民福祉の増進と生活の安定向上に資する町政の推進に努力いたす決意であります。

町政日誌

4月

19日・林野火災予防消防対策協議会(佐呂間コミセン)

25日・栃木無医地区巡回相談(栃木公民館)

5月

1日・乳幼児・一般健康相談(若佐コミセン)

・献血車巡回

5日・運転免許証更新時講習会

7日・一般健康相談(役場内)

8日・一般健康相談

(町民センター)

10日・無医地区巡回相談

(幌岩公民館)

議会のついで

平成三年第一回定例町議会は三月十二日から二十日まで開会され条例や予算などが議決されました。

なお、第二回臨時町議会で町総合計画審査特別委員会に付託となっていました、第二期佐呂間町総合計画については、原案通り可決されました。

(計画書については、後日全戸に配布いたします。)

条例

●佐呂間町森林組合事業運営資金利子補給条例の制定

佐呂間町森林組合が、事業運営資金として町長の承認を得て金融機関から五千万円を限度とする借受資金に対し、支払利子額の四十%以内の利子補給を行うことになりました。

●佐呂間町酪農ヘルパー事業基金の設置、管理及び処分に關する条例の制定
酪農ヘルパー事業の経費に充

てるため、佐呂間町酪農ヘルパー事業基金が設置されました。

●職員の勤務時間に関する条例の一部改正

職員の勤務時間が一週間に於いて「四十時間から四十六時間」を「四十時間から四十四時間」の範囲内に改正されました。

●特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例の一部改正

特別職及びその他の委員等に支給される費用弁償額が、車馬賃一kmにつき「二十五円」が「三十七円」に、町外日当「二千二百円」が「二千六百円」に、町外宿泊「八千四百円」が「一万二千八百円」に改正されました。

●佐呂間町国民健康保険運営協議会委員の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例の一部改正

佐呂間町国民健康保険運営協議会委員に支給される費用弁償額が、車馬賃一kmにつき「二十

五円」が「三十七円」に、町外日当「二千二百円」が「二千六百円」に、町外宿泊「八千四百円」が「一万二千八百円」に改正されました。

●特別職の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部改正

町長に支給される旅費額が、車馬賃一kmにつき「二十五円」が「三十七円」に、町外日当「二千二百円」が「二千六百円」に、町外宿泊「八千四百円」が「一万二千八百円」に改正され、助役、収入役に支給される旅費額が、車馬賃一kmにつき「二十五円」が「三十七円」に、町外日当「二千二百円」が「二千六百円」に、町外宿泊「八千四百円」が「一万九百に改正されました。

また、移転料が、距離数に應じ六万九千円から十二万一千円までの範囲内で支給されることになりました。

●佐呂間町旅費支給条例の一部改正

職員に支給される旅費額が、車馬賃一kmにつき「二十五円」が「三十七円」に、町外日当「一千七百円」が「二千二百円」に、町外宿泊「七千六百円」が「九千八百円」に改正されました。

また、移転料が、距離数に應

じ六万九千円から十二万一千円までの範囲内で支給されることになりました。

●職員の給与に関する条例の一部改正

自己が所有する住宅に居住している職員に対して支給される手当額が「月額千五百円」が「月額五千円」に改正されました

●手数料徴収条例の一部改正

公的年金制度にかかる受給権者現況届に関する証明が無料になりました。

●佐呂間町立へき地保育所条例の一部改正

佐呂間町立へき地保育所保育料の一部改正がされました。

●乳幼児医療費助成に関する条例の一部改正

乳幼児医療費の自己負担に対する助成の範囲が「一歳未満(一歳に達する日)」が「三歳未満(三歳に達する日)」に改正され、歯科診療についても助成の対象になりました。

●佐呂間町立特別養護老人ホーム設置条例の一部改正

佐呂間町立特別養護老人ホームの設置場所が、地籍調査の結果に基づき地番改正がなされ、「常呂郡佐呂間町字永代町百七十八番地の五」が「常呂郡佐呂間町字永代町百七十七番地の十」に改正されました。

●佐呂間町林産業振興資金利子補給条例の一部改正

林産業者が利子補給を受けることができる資金の限度額が、「一億円以内」が「八千五百万円以内」に改正されました。

●佐呂間町営住宅条例の一部改正

町営住宅入居者に対する、収入超過者割増賃料の、収入基準額が改正されました。

●佐呂間町奨学資金基金の設置管理及び処分に關する条例の一部改正

佐呂間町奨学資金の基金として積立てる額が「佐呂間町奨学資金として指定された寄付金」が「町費及び指定寄付金」に改正されました。

●網走支庁管内町村公平委員会規約の一部改正

網走支庁管内町村公平委員会の規約が一部改正されました。

予 算

●平成二年度佐呂間町一般会計
予算が次のとおり補正されま
した。

四千五百九十五万二千円が追
加され、予算総額が五十六億五
千七百六十六万二千円になりま
した。

主な補正額

(歳入)

・普通交付税

三千七百三十八万六千円

・特別交付税

一億六千三百八十万六千円

(歳出)

・各公共施設整備基金積立金

一億二百万円

・佐呂間町老人保健特別会計繰
出金

△二千七十八万五千円

●平成二年度佐呂間町国民健康
保険特別会計予算が次のとお
り補正されました。

一千二百四万円が減額され、
予算総額が六億六千四百六十五
万九千円になりました。

主な補正額

(歳入)

・国民健康保険事業基金繰入金

△二千五百万円

●平成二年度佐呂間町老人保健
特別会計予算が次のとおり補
正されました。

二千五百七十六万三千円が減
額され、予算総額が七億九千百
七十一万五千円になりました。

主な補正額

(歳入)

・医療費交付金現年度分

△二千二百二十三万二千円

(歳出)

・前年度繰越金

一千九百一十一万七千円

・医療給付費

△二千五百八十五万八千円

財産の貸付

●次のとおり町有財産が無償で
貸付されます。

・貸付の建物・施設等

さろます養殖施設

・貸付の目的

さろます養殖事業のため

・貸付の相手方

常呂郡佐呂間町字幸町
サロマ食品工業株式会社
代表取締役 船木 淳一

免除する貸付料の年額
二百七十八万五千
九百九十円

第一回町議会定例会 町長行政報告 (要旨)

若里小学校 校舎落成について

町内唯一の木造校舎でありま
した若里小学校校舎の改築につ
いて、昨年七月から三億四千二
百万円余りを投じて建設中とし
たが、本年一月装いも新たに、
近代的な校舎として完成いたし
ました。

三月三日には、網走教育局長
など町内外関係者多数のご出席
を得て、落成式及び開校八十周
年・開基九十周年の記念式典が
盛大に行われました。

湧網線交通対策 協議会について

国鉄湧網線が昭和六十二年三
月廃止と同時に、網走バス株式
会社により代替バスが今日まで
運行されていましたが、国鉄廃
止に伴う国の補助は五カ年とさ
れており、その時期が平成四年
三月十九日までとなっております。
それ以降の代替バス運行に
ついては、網走バスとの覚え書
に基づき、湧網線交通対策協

議会が対応することになってい
ます。

本協議会は、昭和六十二年以
降開催されておらず、今後の対
応策を検討するため、網走市な
ど関係一市四町の市町長が三月
二日本町に集まり、網走バスか
ら現在の経営状況について報告
を受けた後、会長に佐呂間町長
とすることを決定し、本年度中
に具体的な対策を検討すること
を協議いたしました。

サロマ湖内の流氷 流入状況について

今年の暖冬異変により、サロ
マ湖の凍結が遅れ二月十七日か
らのおおしけで接岸流氷の一部
が湖内へ流入し、浜佐呂間沖か
ら芭露沖までの湖岸に接岸凍結
状態になっております。

三月八日の強風悪天候により
湧別川の未結氷区域でカキ・ホ
タテの養殖施設に被害が生じた
ようであり、富武士側は凍結し
ておらず、被害状況は全くわから
ない状況にあります。氷が解け
てから流出しないかぎり、養殖
施設の被害状況が調査できない
ということがあります。今後、
漁組とも協議を重ねながら
検討を講じていきたいと考えて
います。

東洋ゴム工業株式 会社タイヤテスト コース設置について

大阪本社の東洋ゴム工業株式
会社では、冬道用の大型スタッ
ドレスタイヤ開発のため、昭和
六十三年から本町で耐寒テスト
を行っており、昨日、昨日本
社から吉村総務担当常務が来町
され、正式に本町西富地区に寒
冷地耐寒テストコースを設置す
ることに決定したので、町の協
力を願いたい旨の要請がありま
したのでご報告いたします。

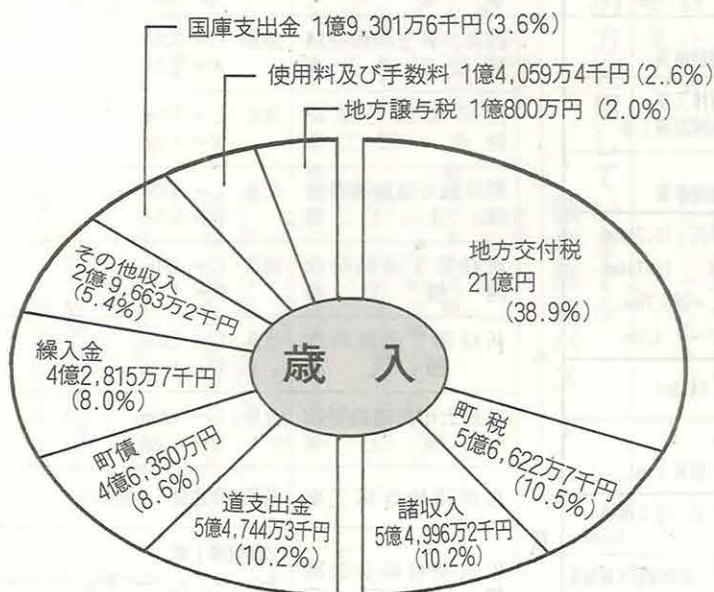
東洋ゴム工業株式会社は、大
阪に本社を有する国内大手のタ
イヤメーカーとして知られてい
る会社で、資本金百十五億・年
間売上約二千億、主なもの、
タイヤ五十七％・ウレタン加工
が四十三％等です。

国内に四十八の販売網を有す
る企業であり、宮崎県にもタイ
ヤテストコースを持っています
が、冬期間用のテストコースと
して本町を指定し、施設整備を
行い本格的なテストを実施する
ということがあります。

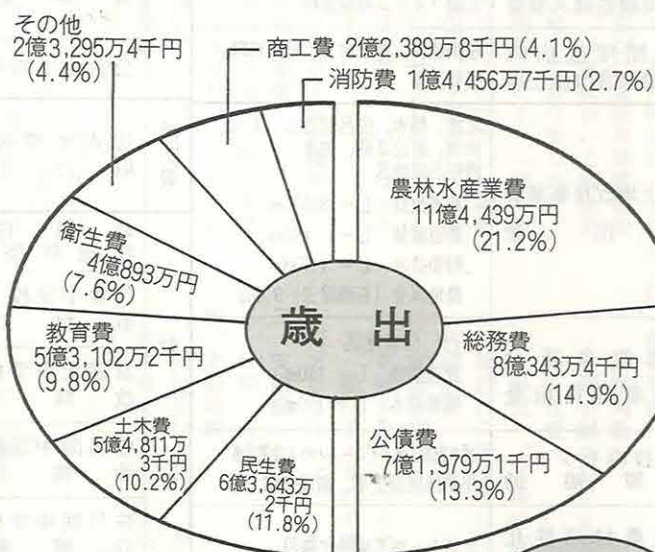
今後用地の取得、地権者との
話し合い、施設整備に本町も積
極的に協力して参りたいと考え
ております。

平成3年度 予算総額

70億421万円



一般会計
53億9,353万1千円



特別会計
16億1,067万9千円

と場会計

3,396万5千円
(伸率 1.9%)

簡易水道会計

1億6,306万6千円
(伸率 5.4%)

**国民健康保険
会 計**

6億1,912万1千円
(伸率 △8.2%)

老人保健会計

7億9,452万7千円
(伸率 △2.6%)

平成3年度主な事業

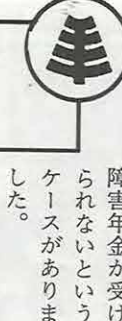
一般会計

事業名		事業内容	事業名		事業内容
総務費	百年史編さん事業	平成3年度から平成7年度まで継続事業	土木費	西富、若里幹線道路特改四種工事	舗装 L = 720m W = 5.5m
	庁舎改修工事	建築主体工事、解体工事 電気設備工事、機械設備工事		佐呂間28号道路特改一種工事	改良 L = 170m W = 4.0m
	佐呂間町PRビデオ製作事業	平成3年度から平成4年度まで継続事業		朝日34号道路凍雪害防止工事	改良 L = 400m W = 5.5m
商工費	サロマ湖展望台管理道路新設事業	用地内立木調査委託 10,744㎡ 国有林用地借上料 10,744㎡ 道路新設舗装 L = 565.79m W = 4.0m	土木費	新緑第1道路特改四種工事	舗装 L = 464m W = 4.0m
	老人アパート新設工事	木造平家長屋式 24.3㎡		新緑第2道路特改一種工事	改良 L = 237m W = 4.0m
民生費	若佐保育所前舗装整備工事	簡易舗装 666㎡ 舗装整地 10cm (舗装4cm)		富士市市街道路特改一種工事	改良 L = 100m W = 4.0m
	佐呂間町葬斎場新築工事	鉄筋コンクリート造一部2階建 425㎡	衛生費	宮前団地改修工事	昭和44年建設 1棟4戸
衛生費	若佐歯科診療所歯科治療用機器購入事業	歯科治療用ユニット、全顎撮影X線装置 X線フィルム用現像機		佐呂間町総合公園整備事業	公園整備工事 モニュメント、バーベキューコーナー トイレ、植栽工事
	佐呂間厚生病院看護婦宿舎改修工事	屋根塗装、外壁塗装、軒天修理 張替工事		公営住宅新築工事	PC造一種1棟4戸
農林水産業費	道営土地改良事業費負担金	北富、栃木、佐呂間西部、大成、 浜南、富丘2期、知来、 西佐呂間地区 農道改良 L = 3,675m 農道舗装 L = 895m 明渠排水 L = 1,738m 農地保全(石礫除去) 9.0ha	消防費	防火水槽吸水管取付工事	厚生病院前防火水槽 (吸水管2か所) 100t 西富公営住宅横防火水槽 (吸水管1か所) 40t
	土地改良総合整備事業負担金	床丹、仁倉地区 農道舗装 L = 150m 明渠排水 L = 170m		教員住宅新築工事	新築7棟
	農業技術センター整備補助	灌水施設工事、ビニールハウス設置工事 作業棟建設工事、圃場整備工事	教育費	仁倉小学校二重窓取付工事	仁倉小学校10教室
農業費	農業農村活性化農業構造改善事業(汚水処理施設)	カボチャ加工場浄化施設 設置費補助		富士小中学校内部改修工事	職員室、校長室改修
	公共育成牧場整備事業	草地整備 43.0ha 用排水 4.0ha 隔障物 3,600m 測量調査委託		佐呂間中学校便所改修工事	生徒用便所 4か所
	水産物中核流通加工施設整備事業	予備処理設備、乾燥脱臭設備 焼却設備、附帯設備工事	教育費	佐呂間中学校放送設備事業	放送設備機器 調整卓、カラーカメラ一式
町有林整備事業補助金	町有林整備事業	保育事業委託料、素材生産事業委託料、造林事業 保育事業、林道・作業道草刈事業		浜佐呂間プール改築工事	簡易式プール 25m×8m×1m (4コース) 幼児プール 3m×7m×0.8m 機械設備、動力電気設備、 衛生設備、管理施設
	民有林人工造林推進事業補助金	人工造林、下刈、除間伐	特別会計		
事業名		事業内容	事業名		
簡易水道	検満量水器改良工事	検満量水器 230台			

二十歳以上の学生も

国民年金の加入が義務づけられました

これまで、大学生や専修学校生は、国民年金の加入は任意となっていました。このため、在学中に交通事故などによるケガや病気で障害者になっても、国民年金に加入していないため、障害年金が受けられないというケースがありました。



また、国民年金制度では、二十歳から六十歳になるまでの四十年間加入して満額の年金となりますが、卒業後の加入では、満額の年金が受けられません。

このような問題を解決するため、制度が改正され、ことし四月から学生の皆さんも全員国民年金に加入することになりました。

●加入の手続きは
住民登録している市町村の国民年金窓口で行いますが、親元から離れ下宿しているような場合、住民登録している市町村の国民年金窓口で行いますが、親元から離れ下宿しているような場合

国民年金を健全に運営していくための保険料改定ですので、ご理解をお願いします。

保険料を前納すると 割引されます

保険料の納め忘れをなくする方法として、一年分の保険料をまとめて納める前納制度があります。

前納制度を利用しますと保険料が割引されますので、納期限毎に納めるよりも安くなります。ただし、前納の納期限は四月末日までとなっていますので納め方など詳しいことは年金係へおたずねください。



納め忘れ解消に

お仕事や、ご商売などでお忙しい方はあなたの預金口座から、自動的に保険料を納めることができる口座振替をご利用ください。

保険料が四月から 変わります

これまで国民年金の保険料は月額八千四百円でしたが、平成三年四月から月額九千円になります。

年金を支給するために必要な財源は、加入者の方が納める保険料と国の負担によってまかなわれています。

国保一口メモ

★こんなときは必ず届出を

世帯主の方は、世帯に属する被保険者の資格に別表のような異動があったときは、必ず十四日以内に届出をしてください。

★被保険者証はまちがいがなく使いまししょう。

医療機関では、被保険者証によって、みなさんが国保に加入していることを確かめ、保険に

よる診察を行います。他市町村への転出や職場の健康保険に加入したときは、直ちに届出をして、被保険者証を返却してください。

国保の資格がなくなったあとで、国保を使用して病院にかかった場合、国保で負担した分の医療費を返納してもらうことになります。

こんなときは必ず届出を 届出は14日以内に

国保に入るとき	持参するもの
転入してきたとき	印かん
他の健康保険をやめたとき	印かん、資格喪失証明書
生活保護をうけなくなったとき	印かん、保護廃止通知書
子どもが生まれたとき	印かん、保険証、母子手帳
国保をやめるとき	持参するもの
転出するとき	印かん、保険証
他の健康保険に加入したとき	印かん、両方の保険証
生活保護をうけるととき	印かん、保険証、保護開始通知書
加入者が死亡したとき	印かん、保険証、死亡の証明
そのほか	持参するもの
市区町村内で住所が変わったとき	印かん、保険証
世帯主が変わったとき	印かん、保険証
世帯がわかれたり、いつしよになつたとき	印かん、保険証
退職者医療制度の対象になつたとき	印かん、保険証、年金証書
保険証をなくしたとき (あるいは汚れて使えなくなつたとき)	印かん、本人であることを証明するもの(免許証など)
修学のため、別に住居を定めるとき	印かん、保険証、在学証明書
出かせぎ 長期の旅出	印かん、保険証

若佐・知来地区で 健康講演会開催

三月十二日、知来公民館において「モデル地区健康講演会」が行われました。

知来地区では、社会学級として毎年講演会を行っており、昨年、国民健康保険総合保健活動のモデル地区の指定を受けたことにより今回は健康講演会の開催となったわけです。

講演会には約八十名が参加し午前中、旭川厚生病院副院長（同検診センター所長）杉村巖氏を講師に「健康をあなたの手に」と題し、食生活やボケ防止法などについての講演が行われました。また昼食では、健康食の

試食会が行われ、午後から体力測定などを行い、参加者たちは再度健康について認識し合っていました。

また、二十日には若佐コミュニティセンターにおいて、講師に森永乳業（株）佐呂間工場長渡辺正氏と北海道生乳検査協会網走事業所長の稲垣秀夫氏を迎えて「牛乳と健康」と題して「若佐講演会」が行われました。これは、地元の青年たちで作るルクシ会（会長湯本吉夫氏）とわかさ会（会長佐藤尚氏）の主催で行われたもので、渡辺氏の講演では、脱脂乳とクリーム

の試飲やバターの作り方の実験など、講演に実演を交えて牛乳がいかに人間の身体に役立っているかを、また稲垣氏からは、生乳検査協会の役割などについての講演が行われました。

この講演会は、毎年開催する予定になっていますので、多くの町民の方に参加して頂きたいとのことです。

ATVサロマ カップ大会

三月三日、浜佐呂間特設会場において、三輪、四輪バギーレース「オール北海道ATVサロマカップ91」が百人を超えるライダーを集め開催されました。

今年は暖冬のため、サロマ湖氷上でのレースは行うことができなかったものの、全国各地より集ったライダーたちの中には全日本選手権上位入賞者も出場していることもあり一段と迫力あるレースが繰り広げられました。

レースは一周二・五キロメー

全町下の句 カルタ大会

三月十七日、町格技館において全町下の句かるた大会（下の句かるた愛好会主催）が行われました。

大会には、町内から大人二チームのほか北見市や女満別町から九チームと、地元の子供たちあわせて十五チーム約五十名が参加して行われ、読み手が札を読み上げると、お互いにけん制し合い一瞬の早さを競うなか、気合いとともに木札を取り合うな

イルのコースを排気量別に八周走りタイムを競う「スプリントレース」、一時間三十分走り続けて周回を競う「耐久レース」が行われ、転倒や接触といったアクシデントもあり危機迫まる場面もみられ、観客を沸かせていました。

また、エキシビジョンでは女性による「レディースレース」が行われ男顔負けのレースが展開され、佐呂間の寒い冬も若さあふれる熱気でいっぱいでした

ど、館内には畳をたたく迫力ある音が最後まで響いていました



若里小学校々舎落成

若里 開基九十周年 記念式典
開校八十周年



昨年七月から、総工費三億四千二百萬円余りを投じて建設が進められていた、若里小学校が一月に完成し、三月三日、網走教育局長や卒業生また町内外から関係者多数が出席し、落成式及び開基九十周年、開校八十周年記念式典が行われました。

多目的ホールで行われた式典では、工事報告が成されたあと工事関係者や寄付者に対し町から感謝状が送られ、また、協賛会からは、若里の開拓と発展、小学校の運営に功績のあった方々に感謝状が送られました。

場所を体育館に移して行われた祝賀会では、卒業生たちが久しぶりに会った同級生と、学び舎での楽しかった生活を振り返りながら、懐かしい思い出を語り合っていました。



(音楽室)



(理図・家庭教室)



(普通教室)



(放送室)



(多目的ホール)



(校舎前に建立された記念碑)



(多目的ホールで行われた記念式典)

お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

運転免許証

更新講習会

五月は、簡素化（三十分）講習です。

◎対象者

次に該当する方で、すでに更新手続きを終了し、警察署の窓口で免許証裏に「簡素」の赤スタンプを押してもらっている方です。

- ・更新前三年間無事故無違反者
- ・初回更新で無事故無違反者

▼日時 五月五日（日）
午後六時から

▼場所 町民センター集会室
更新手続きは、有効期限の一个月前からできます。

受講される方は免許証・筆記用具を持参ください。

なお、更新講習会の会場で交通安全協会佐呂間支部の協力費（千円）を集めさせていただきます。

（交通安全協会佐呂間支部）

水道給水工事の

取扱いについて

一、給水工事の申込みから完成まで

現在、給水工事の申込み受付は給水工事指定業者が行っています。資材等の準備、工事現場の利害関係の同意、工事の承認手続き等のため、工事着手までに十日間程度の時間が必要ですので、早目に工事の申込みをしてください。

また、住宅建設に際しては、水道から給水が可能かどうか事前に調査検討してから建設してください。

二、佐呂間町給水工事指定業者

（平成三年度）

・一種指定業者

三協工業株式会社

西 富 ☎ 二一三八二一

・二種指定業者

土屋ポンプ店

若 佐 ☎ 二一八二七二

垂水設備

西 富 ☎ 二一三二八七

佐呂間酪農機器

若 佐 ☎ 二一八一五一

渡部セトモノ店

若 佐 ☎ 二一八〇二八

三、指定業者の工事施行範囲

・一種指定業者

配水管分水栓以下全給水装置

・二種指定業者

不凍栓以下屋内給水装置

四、無届違反工事について

水道は、清浄な水を安全に利用者に供給する施設で、違反工事が原因で水が汚染されたり、災害事故等が発生し、命にかかわる場合もあります。

水道法では、これらの事故を未然に防止するために給水装置の構造及び材質が定められています。

町の水道から直結して、給水を受ける場合は、すべて町の承認を受け、町の給水工事指定業者以外は工事を施工することができません。

（建設課水道係）

「消費生活リーダー」

養成通信講座

受講者募集

消費生活に必要な基礎知識を学習し、消費生活の安定・向上のため地域において消費生活運動を、推進する人材を養成するための「消費生活リーダー養成通信講座」受講者を次により募集します。

対象

道内に居住し、消費者問題に関心を持ち、学習意欲のある者

募集人員 道内 一〇〇名

受講料 一七、〇〇〇円

（内七、〇〇〇円は北海道消費者協会が負担する）

期 間 平成三年六月からおおむね九ヶ月間

募集期間 平成三年四月十五日から五月二十日まで

※申込み及びその他詳しくは産業課商工観光係へ問い合わせください。

戦後強制抑留者に

対する慰労品

慰労金の贈呈に

ついて

一、慰労品

昭和二十年九月二日以後ソビエト社会主義共和国連邦又はモンゴル人民共和国の地域において強制抑留された者で、本邦に帰還した者または、昭和六十三年七月三十一日以前に死亡した戦後強制抑留者の遺族で、同年八月一日において日本の国籍を有する者には、全員に慰労品を贈呈します。

二、慰労金

一の者のうち、昭和六十三年八月一日において年金恩給等の

給付を受ける権利を有する者、若しくは同日前においてその権利を有した者又はこれらの者の遺族以外の者については更に慰労金十万円（二年償還の記名国債）が支給されます。

※詳しい内容、手続等については役場民生課社会係に問い合わせください。

民有林の造林

補助制度について

佐呂間町は森林が多く、私達の生活に直接、間接に大きな役割を果たしていますが、最近森林の転用が多くなる一方造成は年々減少し、このままでは将来の資源確保や生活環境の保全にとっても大きな問題となつていきます。

このため町では、今年度から民有林の人工造林を推進するため植栽、保育にかかる経費の一部を補助することになりました

一、補助対象者ー町内に森林を所有していること

二、対象事業ー公共造林補助事業のうち人工造林、下刈、つる切除伐事業

三、補助率ー公共補助残の三十%

※その他詳細は産業課林務係へ問い合わせください。

身障者手帳交付に要する 診断書料に助成を行います

身体に障害のある者が、身体

障害者手帳の交付申請時に必要

な、医師の診断書に要する料金

について、経済的負担の軽減及

び福祉の向上に寄与するため、

このたび町が診断書料金に対し

て、次のとおり助成を行うこと

になりました。

助成の対象者

本町に居住し、かつ住民基

本台帳に記載されている者

(ただし生活保護を受けてい

る者は除かれます)

助成の範囲

身体障害者手帳交付申請時

(新規申請のみ)に添付する

医師の診断書に要する料金及

び文書料に対して、五千円を

限度として助成いたします。

助成の方法

助成を受ける場合は、医療

機関の領収書を添付して、申

請を行ってください。

七十歳以上の方利用していますか 敬老無料バス

平成二年四月から、町内に居

住する七十歳以上の方には、町

内で運行する定期バス運賃の無

料化を行っております。

定期バスを利用しようとする

方は、次の手続きが必要です

で気軽にご利用ください。

対象者

町内に居住する次の者

・七十歳以上の者

・老人保健法に定める寝たき

り老人

・老人医療給付事業特別対策

事業者

乗車できるバス

・佐呂間町営バス

敬老無料バス

・北見バス

・網走バス

乗車できる区域

佐呂間町全域・ただし目的

地が町外である場合は使用で

きません。

乗車証の交付及び券の交付

印鑑及び写真一枚を持参し

民生課社会係、若佐支所、浜

佐呂間出張所で申請してくだ

さい。

一名につき年間五十枚を限

度として交付いたします。た

だし、医療機関等に通院する

場合はこの限りではありません。

ねたきり老人等の介護者に対して 介護手当が支給されます

従来まで、身体障害児、ねた

きり老人並びに重度身体障害者

に対して、年末において福祉見

舞金を支給しておりましたが、

平成三年四月一日より「ねたき

り老人等介護手当」及び「福祉

手当」と改め、手当として支給

することになりました。

内容、手続等については次の

とおりです。

◎「ねたきり老人等介護手当」

一、支給対象者

ねたきり老人、重度身障

者等を三か月以上にわたり

介護している者。

二、支給額

月額 五千円

(申請の行った日の属する

月から、介護すべき事由が

消滅した日の属する月まで)

三、支給時期

九月及び三月に、それぞ

れの月までの分を支給。

四、支給の認定

介護手当を受けようとする

者は、「介護手当支給申

請書」を民生委員の意見を

附して申請してください。

また、介護者でなくなつ

たときは、その旨届出が必

要です。

◎「福祉手当」

一、支給対象

療育手帳の交付を受けて

いる児童

・身障児一、二級の者

・施設に入所する二十歳未

満の者

二、支給手帳

支給を受けようとする者

は、福祉手当支給申請書を

提出しなければなりません

三、支給額

月額 五千円

四、支給時期

九月及び三月に、それぞ

れの月までの分を支給しま

す。



児童館からのお知らせ

平成2年度中に子供たちが手芸サークルで製作した作品を、4月21日(日)まで図書館会議室において展示いたします。

子供たちが一つ一ついいねいに時間をかけて作成した立派な作品ばかりです。ぜひご覧ください。

公的年金受給者の
現況届証明料が
無料になりました

公的年金制度(国民年金・厚生年金等)の年金受給者は、毎年一回、役場住民係で証明を受けた現況届を提出することになっていますが、この証明については、今まで手数料(百五十円)を徴収していましたが、四月一日からは、受給者現況届の証明料は無料となります。

(民生課住民係)

町営バス時刻表(夏ダイヤ) (5月1日から10月31日まで)

往	路	1 便	2 便	3 便
停留所名				
佐 呂 間		6:30	12:45	17:00
中 学 校 前		6:31	12:46	17:01
高 校 前		6:32	12:47	17:02
北 会 館 前		6:35	12:50	17:05
長 屋 前		6:37	12:52	17:07
トカロチ入口		6:42	12:57	17:12
農 協 支 所		6:45	13:00	17:15
三 号 線		6:47	13:02	17:17
保 育 所 前		6:49	13:04	17:19
トカロチ浜			13:10	17:25
富 武 士 浜		6:50	13:15	17:30
サロマ湖畔		6:50	13:17	17:32
浪速小学校前		6:55	13:21	17:36
幌岩学校前		7:03	13:28	17:43
汐 見 町		7:08	13:33	17:48
浜 佐 呂 間		7:10	13:35	17:50

復	路	1 便	2 便	3 便
停留所名				
浜 佐 呂 間		7:10	13:35	17:50
汐 見 町		7:12	13:37	17:52
幌岩学校前		7:17	13:42	17:57
浪速小学校前		7:24	13:49	18:04
サロマ湖畔		7:28	13:53	18:08
トカロチ浜		7:35		
富 武 士 浜		7:40	13:55	18:10
保 育 所 前		7:41	13:56	18:11
三 号 線		7:43	13:58	18:13
農 協 支 所		7:45	14:00	18:15
トカロチ入口		7:48	14:03	18:18
長 屋 前		7:50	14:05	18:20
北 会 館 前		7:55	14:10	18:25
高 校 前		7:58	14:13	18:28
中 学 校 前		7:59	14:14	18:29
佐 呂 間		8:00	14:15	18:30

停電のお知らせ

次のとおり作業停電を行います。

1. 停電日時
平成 3 年 5 月 19 日(日)
午前 8 時 00 分～11 時 55 分
2. 停電区域
佐呂間町全域
3. 停電理由
変電所定期点検及び送電線保修作業のため

サロマ '91「木の工作展」

木を見直し、木のあたたかみに触れ、木との触れ合いを生活の中に取り入れてみましょう。

と き 4 月 20 日(土)・21 日(日)

ところ 佐呂間コミュニティセンター

主 催 木 と ふ れ あ い の 会
佐呂間地区林産協同組合

昨年町内では、交通事故により四名もの尊い命が失われました。
この死亡交通事故を少しでも無くそうという願いを込めて、西富川井公夫さんから折りづるで作った「折願交通安全」の置物が寄贈されました。

寄贈『交通安全を願って』



(役場庁舎内に展示)

私たちが「朗読の会」の活動は目が不自由でなかなか本を読むことができない方に、町広報や議会だよりその他お知らせなどを、私たちの声でカセットテープに録音し、そのテープを聞いてもらうことにより、目に障害を持つ方にも、町の行政や町の話題などを知っていただくための作業を行っています。
目が不自由な方の役に立つてもらおうと発足した会で、現在十名の会員で活動を行っています。時間が都合さえつければ自宅でも簡単にできる作業ですので、ボランティア活動に意欲のある方で参加してみようと思ふ方はぜひご連絡ください。

ボランティアグループ紹介 朗読の会

連絡先

朗読の会会長 佐藤昌子さん
(☎二二二三七) 山口光子さん
(☎二二三六一九) まで



ゴミも資源

ご家庭のゴミを園芸用堆肥に!!

最近、増え続けるゴミ問題について、適正処理から省資源エネルギー対策としてのリサイクルあるいは、資源化の工夫そして昨今は地球環境の保全との関連まで論じられ、ゴミ減らしの大切さが注目され私たちの毎日のくらしに密着した問題となつていきます。

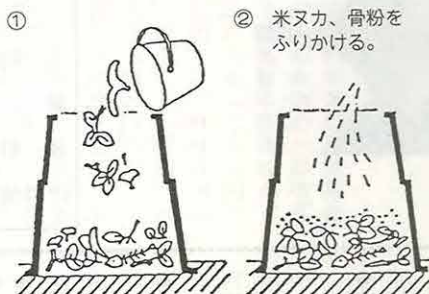
そこで町民一人一人が自分から進んで取り組んでいかなければ、むずかしい問題です。古新聞・古雑誌等は廃品回収業者に引き取ってもらい、地球の環境保全に役立てることが出来ます。

又、生ゴミは堆肥化を行い肥料等に出来ます。そこでその生ゴミ処理容器について紹介します。



本格的堆肥の造り方

大量の台所の生ゴミ、雑草、落葉、小枝等での堆肥の作り方



- ① 生ゴミ等が容器の3/4程度の厚さになるようにつめる。
- ② この上に米ヌカ又は骨粉を1握りくらいふる。その上に少量の土をかぶせる。
- ③ ①、②を繰返して一杯になるまでつづけて下さい一杯になって2～3カ月放置する。
- ④ 台所の生ゴミを入れたら、もっと良質の堆肥ができます。取り出す時は持手をもって、本体を上に取り上げて下さい。

設置方法

- ・設置する所の土を五～十cm程度掘り起し(ミミズ・微生物が進入しやすいように)平らにならしてから五～十cm程度埋めれば完了です。
- ・コンクリート、アスファルトの上では使用できません。
- ・ゴミを捨てるのに便利な日当たりの良い場所に置いてください。
- ・二個を交互に使うと効率大幅アップ!

設置

- 一、一個で一年間分の生ゴミ約三～四トンが処理できます。
 - 二、生ゴミから良質の堆肥製造ができます。
 - 三、ポリエチレンですから耐水耐久性に優れています。
 - 四、フタがピシッと合うので水が入らず、臭気も出ません。
- 詳しい問い合わせは、民生課衛生係へ。

寸法



名 称	サ イ ズ D × H	1年分生ゴミ 消 化 能 力
C P - 130	635×625	約3トン
C P - 160	665×700	約4トン

※メーカーにより大きさが多少違います。

※取扱店

町内薬店及び
金物店

乳幼児医療費の対象年齢が

引き上げられました

〔通院・歯科診療が三歳未満まで対象に〕

乳幼児の健康の向上と福祉の増進をはかることを目的に、町では昭和四十八年から乳幼児医療費の一部を保護者に助成する制度を実施してきましたが、これまで以上に、乳幼児における疾病の早期発見・早期治療を促進するため、四月から次のとおり対象年齢の引上げと診療科の改正が行われました。

健康保険被保険者証・乳幼児医療費受給者証・医療機関の領収書・印鑑・支払いを受ける口座名
詳しいことは、民生課保険係へ問い合わせください。

★医療機関にかかった

ときの取扱い

乳幼児が医療機関にかかる場合は、健康保険被保険者証と一緒に、町で交付した乳幼児医療費受給者証を窓口へ提出してください。

診療費の支払いについては、次のとおりとなります。

遠軽医師会内の病院・診療所及び佐呂間町内の歯科診療所で診療を受けた場合

窓口での医療費（三割）支払いはありません。

遠軽医師会以外の病院・診療所及び佐呂間町以外の歯科診療所で診療を受けた場合

窓口でいったん医療費（三割



乳幼児医療費助成の対象年齢

	改 正 後	従 来
入 院	6歳未満の乳幼児 ← 現行どおり	6歳未満の乳幼児
通 院	3歳未満の乳幼児 ← 引 上 げ	1歳未満の乳幼児
歯 科	3歳未満の乳幼児 ← 改 正	助成なし
その他	初診時一時負担金 ← 現行どおり	初診時一時負担金

役場人事

（四月一日付）

・総務課
総務課付（企画課財政係）
主事 十 亀 沙千代

・総務課
総務課庶務係（総務課付）
主事補 石 川 直 樹

・総務課
総務課庶務係（新採用）
主事補 菊 野 有 紀

・企画課
企画課計画係兼財政係（総務課庶務係）
主事 弘 内 裕 子

・民生課
民生課長補佐兼社会係長（財政課長補佐兼経理係長）
主事 桐 山 三津代

・保健婦（新採用）
技師 赤 木 ひとみ

・保健婦（新採用）
技師 関 陽 子

・保健婦（新採用）
技師 五十嵐 美砂江

・産業課
産業課長補佐（産業課林務係長）技師 今 井 經 二

・産業課
産業課農薬土木係長（建設課土木係主任）技師 原 昭 広

・産業課農政係（企画課計画係）主事 武 田 温 友

・産業課水産係兼商工観光係（産業課水産係）主事 海 辺 雅 裕

・建設課
建設課維持車輛係主任（建設課維持車輛係バス運行主査）技師 水 戸 静

・建設課土木係（産業課農薬土木係）技師 鶴 田 俊 洋

・建設課維持車輛係（産業課商工観光係）主事補 藤 原 幹 也

・財政課
財政課経理係長（財政課町民税係）主事 安 藤 雅 之

・財政課町民税係（建設課維持車輛係）主事 林 洋 樹

・収入役室会計職員（産業課農政係兼畜政係）主事 土 本 千 晶

・開基百年記念事業準備室（教育委員会社会教育課主幹兼図書館長）主事 十 亀 伸

・開基百年記念事業準備室主幹（教育委員会社会教育課主幹兼図書館長）主事 高 橋 利 治

・開基百年記念事業準備室勤務

(収入役室会計職員)

主事 桜井 智恵子

教育委員会

管理課長(民生課長補佐兼社会係長)

主事 寺本 稔

図書館長(社会教育課長補佐兼社会体育係長)

主事 沢谷 寛

社会教育課社会体育係長(社会教育課社会教育係兼図書館管理係)

主事 大谷 昭文

社会教育課社会教育係兼図書館管理係(社会教育課社会教育係)

主事 河合 千尋

社会教育課社会体育係兼社会教育係(新採用)

主事 永野 正

農業委員会

事務局長(産業課長補佐兼農業土木係長)

技師 藤田 算之

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム勤務(新採用)

寮夫 上杉 貢

議事事務局

庶務係長兼議事係長(書記)

書記 深尾 毅

遠軽地区広域組合消防署

間支署

消防士長 佐々木 博良

庶務係主査(消防係)

消防士長 佐久美 晴好

予防係長(消防係主査)

消防士長 中原 孝司

予防係主査(予防係)

消防士長 門 茂治

予防係(消防係)

消防士 森 秀樹

消防係長(消防係長兼予防係長)

消防士長 橋本 英夫

消防係主任(庶務係主任)

消防士長 天內 順治

消防係(庶務係)

消防士 清水 順一

退職 (三月三十一日付)

主事 田町 幸夫

主事 河本 孝治

技師 瀬戸 竹安

技師 今野 敏夫

寮母 佐野 扶美子

教員人事

◎小学校

出

(校長)

伊藤 悟郎 紋別市立紋別小学校仁倉小学校

(教頭)

午来 裕 小樽市立別小学校佐間小学校

最上 陸郎 留置町立留置小学校若里小学校

山本 康一 留置町立留置中学校(新採用)

水野 正義 網走市立南小学校若佐小学校

(教諭)

松本 靖則 紋別市立開陽小学校佐間小学校

箭原 正信 津別町立活潑中学校若里小学校

吉田 善澄 留置町立大和小学校若佐小学校

清水 和久 斜里町立来連小学校(濱佐間小学校)

山本 房子 常呂町立錦水小学校(濱佐間小学校)

得川 憲子 常呂町立川沿小学校(常呂小学校)

安曇 恭彦 紋別市立紋別小学校(佐間小学校)

細坂 賢一 雄武町立沢木小学校(佐間小学校)

和田 裕子 遠軽町立遠軽小学校佐間小学校

安曇 徳子 興部町立沙留中学校(知来小学校)

佐藤 光輝 仁倉小学校斜里町立斜里小学校

絹笠二三男 佐間小学校北見市立上常呂中学校

加藤 博 若里小学校上湧別町立中湧別小学校

小林 勝弘 栄小学校網走市立西小学校

今滝 正昭 若佐小学校北見市立開成小学校

笹原 藤彦 佐間小学校滝上町立濁川小学校

佐藤久美子 栄小学校常呂町立常呂小学校

大西 美紀 浜佐間小学校滝上町立白鳥小学校

森内 剛 佐間小学校(新採用)

中谷美和子 佐間小学校(新採用)

三浦 夕佳 浜佐間小学校(新採用)

小野寺理江 若里小学校(新採用)

藤田 博文 若佐小学校(新採用)

菅原真由美 栄小学校(新採用)

田中ひろみ 知来小学校(新採用)

日下部直人 栄小学校(新採用)

▼転任

山本 正美 佐間小学校(知来小学校)

近藤 昌子 佐間小学校(栄小学校)

山本 友子 富武士小学校(栄小学校)

和倉 功 (伊達高校)

土橋 文雄 (清里高校)

渡邊 明仁 (留置高校)

吉秋 嘉人 (札幌手稲高校)

志鷹 雄輔 (訓子府高校)

宮川 重徳 (妹背牛商業高校)

渡邊祐美子 (留置工業高校)

米澤 哲 網走市立第三中学校(若佐中学校)

中野 久雄 留置町立勝山小学校(濱佐間中学校)

小林 芳明 斜里町立斜里小学校(若佐中学校)

和田 秀穂 遠軽町立遠軽中学校(佐間中学校)

森田喜美江 上川町立上川中学校(佐間中学校)

掛田起利子 秋田県若菜町立西中学校(若佐中学校)

佐藤 知義 若佐中学校上湧別町立上湧別中学校

谷 昌三 浜佐間中学校(美幌町立北中学校)

大崎 優 幌若小学校(東幌若小学校)

三井 喜人 佐間中学校湧別町立湧別中学校

大江 学 佐間中学校北見市立東相内中学校

須田 徹 若佐中学校雄武町立雄武中学校

西山 樹 佐間中学校(新採用)

笹出 淳子 若佐中学校(新採用)

遠藤 泰代 浜佐間中学校(新採用)

◎佐呂間高校

▼転出

和倉 功 (伊達高校)

土橋 文雄 (清里高校)

渡邊 明仁 (留置高校)

吉秋 嘉人 (札幌手稲高校)

志鷹 雄輔 (訓子府高校)

宮川 重徳 (妹背牛商業高校)

渡邊祐美子 (留置工業高校)

米澤 哲 網走市立第三中学校(若佐中学校)

中野 久雄 留置町立勝山小学校(濱佐間中学校)

小林 芳明 斜里町立斜里小学校(若佐中学校)

和田 秀穂 遠軽町立遠軽中学校(佐間中学校)

森田喜美江 上川町立上川中学校(佐間中学校)

掛田起利子 秋田県若菜町立西中学校(若佐中学校)

佐藤 知義 若佐中学校上湧別町立上湧別中学校

谷 昌三 浜佐間中学校(美幌町立北中学校)

大崎 優 幌若小学校(東幌若小学校)

三井 喜人 佐間中学校湧別町立湧別中学校

大江 学 佐間中学校北見市立東相内中学校

須田 徹 若佐中学校雄武町立雄武中学校

西山 樹 佐間中学校(新採用)

笹出 淳子 若佐中学校(新採用)

遠藤 泰代 浜佐間中学校(新採用)

▼退職

影山 悟

対話の窓

『ふるさと創生事業』一億円の収入状況（元金・利息）等、支出状況がどの様になっているのでしょうか。

また、佐呂間町開基百年記念事業委員が平成三年七月一日、二十名任命されましたが、現在どのような審議がなされているのでしょうか。

町の行政は、佐呂間町条例に基づき執行されていますが、その条例がどの様になっているのかあまり町民に関心がもたれていません。町民があまり手にする事が無いからでしょうか。町民が例規集を求めたい場合配付する考えはないのでしょうか。配付するのなら、どの範囲まで配付し、有料となるか、無料となるかお伺いしたい。以上のようなご意見がありました。

○町長より

先日、町民の方から、『ふるさと創生事業』一億円について開基百年事業について、そして佐呂間町例規集の配付についての三点についてご質問がよせられましたのでお答えいたします。まず、一点は、『ふるさと創生事業』一億円の収入状況と、どのような団体にいくらか位支出されているかとの質問ですが、平成元年一月、国から『ふるさと創生事業』一億円が示され、町民の皆さんからまちづくりのアイデアを募集したところ、六百五十一項目の提案がありました。

これらの貴重なアイデアをもとに、町民の皆さんと懇談会を開き、町議会でも審議をしていただいた結果、『佐呂間町ふるさとまちづくり振興基金』を設置したところであります。

現在、その基金の利息が、六百三十九万九千六百六十五円となつています。

この基金を「自然と文化・歴史のふるさと推進事業」と「ふるさと人づくり推進事業」にあてるため、町民の皆さんが自ら行うまちづくり事業に対し助成をしています。

現在まで、カボチャ倶楽部、若佐ルクシ會、シセアなど三団

体に四百六十三万三千円を助成いたしました。

町民の皆さんには、多くの事業を寄せて頂き、この基金を活用して頂きたいと考えています。

二点目は、佐呂間町開基百年記念事業が、どの様な状況で進められているのでしょうかとのご質問ですが、平成二年七月、二十名の佐呂間町開基百年記念事業委員を任命させて頂き町史編さん委員十名とともに広報七月号で紹介させて頂きました。

現在、開基百年記念事業準備室では、役場内にプロジェクトチームを構成し事業の推進に取り組んでいるところであります。

町民の皆さんのご意見は、開基百年記念事業委員あるいは、開基百年記念事業準備室にどうし申し出て頂きたいと考えています。

そのご意見は、集約されまして、今年度中にも準備委員会から答申されるものと考えています。

平成六年の開基百年を全町民の皆さんとお祝い、記念すべき事業を取り進めていきたいと考えています。

三点目は、佐呂間町の例規集を求めたい場合配付頂けるのかとの質問ですが、例規類集は佐呂間町の条例や規則等を集録

したものです。現在の例規類集は、昭和四十三年に作成されたもので、町職員（係長以上）および関係団体に貸与をしています。現在この在庫はなく、本年度中に新たに例規を作成する計画をしております。

例規類集は非売品なので、販売することはできませんが、非公開のものではないので必要な方につきましては、余部があれば印刷実費負担で譲りしたいと思います。

新しい例規類集ができましたら、佐呂間町立図書館に備えて町民の方が自由に見られるようにしたいと考えています。

公営住宅への

入居収入基準が

改正されました

四月一日から公営住宅への入居収入基準が次のとおり改正になりました。

第一種住宅については、十万円以上十六万二千円以下が、十一万五千円以上十九万八千円以下となり、第二種住宅については、十万円以下が十一万五千円以下になりました。

また、扶養親族の数により収

入基準が変わりますので、次の表を参考にしてください。※その他詳しくは、財政課管財係まで問い合わせください。

○収入基準の年収（月収）換算表

（給与所得者1人、（ ）は月収、単位：円）

区 分	収入基準	扶 養 親 族					
		0人	1人	2人	3人 (標準世帯)	4人	5人
入居収入基準	第一種	198,000	3,591,999	4,027,999	4,463,999	4,903,999	5,339,999
	以下	(299,333)	(335,666)	(371,999)	(408,666)	(444,999)	(481,666)
第二種	115,000	2,207,999	2,707,999	3,207,999	3,659,999	4,095,999	4,531,999
	以下	(183,999)	(225,666)	(267,333)	(304,999)	(341,333)	(377,666)

ぼくとわたしの作品

今月は仁倉小学校のお友だちの作品を紹介します。

三年 佐藤 貴規
のびのびとした立派な字です
力強さを感じます。



四年 中山 順子
運筆も大胆で、堂々たる重み
のある字です。



三年 惣田 泰考
「象の鼻はなぜ長い」
動物の特徴をよくつかみ、生
生と表現された立派な作品です



四年 佐藤 弥生
「ぼんぼん山の月」
心に残ったことをやさしく表
現されています。

ベビーフェイス



宮前町 藤田 敏夫さん

長女 奈津美ちゃん
平成二年二月十六日生

みなさんこんにちは！藤田
奈津実です。生まれた時は小
さくて心配かけたけど、今で
は「金太郎？」のように元気
な女の子です。

みんなは私のことを「きか
ない子」というけど、それは
お母さんのお腹にいた頃、お
父さんが男の子の名前で話し
かけていたせいだと思います
（お父さんは男の子だと思っ
ていたみたい）
二月で一歳になり、周りの
期待は歩くこと。でも抱っこ
してほしいから今は内緒にし
ているんです。甘えん坊の私
だけど、たまにはお母さん
ね！

最近、電話でお話しができ
るようになりました。でも、
本物の電話はなかなか触らせ
てくれないの。そのかわり、
おもちゃの電話で毎日お話し
しています。
だんだん暖かくなってきた
早く外で遊ぶのが楽しみ！
その頃には、ハイハイ卒業し
ているかな？
皆さんこれからもよろしく
ね！

交 差 点

▶平成3年交通事故発生状況（2月末現在）

発生件数	3	(3)
死者数	0	(0)
負傷者数	3	(3)

() 内昨年同期

▶交通事故死ゼロ300日目標

達成日 平成3年9月10日
3月末現在 137日です

▶平成2年度交通安全標語入選作品

手をあげて しんごうよく見て わたりましょう
(栄小 長縄 立哉)

ゆずりあい スピードひかえ 今日も安全運転
(若佐小 佐伯 洋志)

いつだって 無事故は みんなが作るもの
(佐呂間中 高橋 紘子)



●若里老人クラブへ
（亡母 イマさん）
若里 鈴木 洋さん

●身障者福祉協会佐呂間分会へ
（亡夫 愛次郎さん）
中園 渡部 チヨさん

▼全快祝を廃して
●身障者福祉協会佐呂間分会へ
●仁倉老人クラブへ
仁倉 内藤 影子さん

●富武士老人クラブへ
富武士 小山 ハルさん

▼その他
●知来自治会へ
仁倉 小野 久男さん

●特別養護老人ホームへ
（寄付）
若里 鈴木 佳子さん
浜佐呂間 加藤 ハナさん

（寄贈）
幌岩 本田 義一さん
井上 春男さん
東 向井原文雄さん

常呂漁組若里・トカロチ婦人部
幌岩 農協婦人部
佐呂間自治会婦人部
佐呂間漁協婦人部
若佐 婦人会

人 口	7,961	(前月比) (-10)
男	3,830	(- 5)
女	4,131	(- 5)
世帯数	2,552	(- 4)

浜 佐 呂 間 婦 人 部
 商 工 婦 人 部
 〈慰問〉
 佐呂間町婦人団体連絡協議会
 町立図書館へ
 若 佐 山口 英光さん
 宮前町 瓦吹 滋さん
 知 来 横田 敏子さん
 町 立 小 学 校 今 久子さん
 町 立 若 佐 小 学 校
 町立浜佐呂間小中学校
 町立浜佐呂間中学校水産クラブ
 記念誌刊行委員会
 若里開基九十周年・若里小
 学校開校八十周年記念事業協賛
 会
 東京都 インナートリップ
 東京都 (株)日本興業銀行
 広島県 (株)熊平製作所
 総合研究所

サンライフ北見

▼香典返しを廃して
●社会福祉協議会へ
（亡義父 岡崎 雪信さん）
仁倉 小野 久男さん
（亡夫 隆一さん）
北 内海サヨ子さん
（亡夫 愛次郎さん）
中園 渡部 チヨさん
（亡妻 良子さん）
仁倉 高橋 桂三さん
（亡父 幸市さん）
浪速 和泉 亨さん
●北老人クラブへ
（亡夫 隆一さん）
北 内海サヨ子さん
●若佐老人クラブへ
●中園川西老人クラブへ
（亡夫 愛次郎さん）
中園 渡部 チヨさん

●若里老人クラブへ
（亡母 イマさん）
若里 鈴木 洋さん

●身障者福祉協会佐呂間分会へ
（亡夫 愛次郎さん）
中園 渡部 チヨさん

▼全快祝を廃して

●身障者福祉協会佐呂間分会へ
仁倉老人クラブへ
仁倉 内藤 影子さん

●富武士老人クラブへ
富武士 小山 ハルさん

▼その他

●知来自治会へ
仁倉 小野 久男さん

●特別養護老人ホームへ
（寄 付）

ご 寄 付
— ありがとうございました —

商工婦人部
浜佐呂間婦人部
佐呂間町婦人団体連絡協議会
《慰問》